

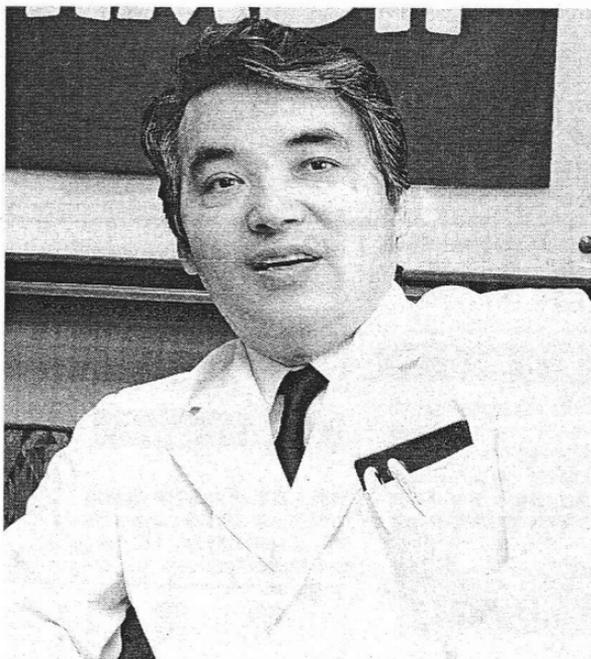
本を語る

「わが子が予防接種を受けられるかどうかは、親にとっては切実な問題。AMD Aの医療活動は、紛争の当事者双方に信頼関係を築くことができる。それが和平の第一歩になる」

国際医療ボランティアAMD A(本部・岡山市)の菅波茂代表は、こう力説する。四冊目の著書、「医療和平」は、人道援助の新しい在り方を打ち出した。

一九九九年、AMD Aは二十年以上内戦が続いたアフガニスタンと平和に動いた。当時、政権に就いていたタリバンと、対立するマストド派(北部同盟)、両

「医療和平」菅波茂さん



すがなみ・しげる 1946年広島県神辺町生まれ。岡山大卒。著書に「AMD Aの提言」(山陽新聞社刊)など。

者の保健医療担当者を日本へ招き、支援センターの設置、子供の予防接種の優先的実施など五項目からなる

医療協力をそれぞれと調整。センター設置などを実現させた。その後、国内、国外情勢の変化などで和平実現はならなかったものの、NGO(非政府組織)による国際貢献の新しい可能性を示した。本書には、和平実現に向けた経緯が克明につづら

もう一つのテーマが危機管理。「紛争など問題を抱えている場所へ支援に出かけるからには、トラブルは付いて回る」と話す。現在、AMD Aは世界三十支部、総勢約八百人のスタッフを抱える。多い年は十回以上緊急救援プロジェクトを行

人道援助の新しい在り方示す

う。

九四年、ルワンダ難民救済活動では、救援チームが借りていた車がたまたま盗難車だったことから、難民の中にいた元の持ち主と仲間たちから襲われた。救援活動で派遣されていた自衛隊に救出されて無事だったが、常に密接なコミュニケーションをとっていたおかげだったという。

菅波さんの夢は、岡山を「西のジュネーブ・東の岡山」と呼ばれる都市にすることだ。「今、人道援助NGOのほとんどは西欧のジュネーブに集中している。AMD Aは、アジア、アフリカなど支援を受ける側の視点に立った支援を担いたい。そうすれば世界が岡山を必要とする」

◇ 「医療和平」は集英社刊、一五〇〇円。